

## 読売新聞 きょう（2月25日）のイチ押し

### 一面 高齢者ワクチン接種4月12日開始

新型コロナワクチンの65歳以上の接種は4月12日から始まることになりました。ワクチン数に限りがあるため、全自治体に行き渡って接種が本格化するのと同26日以降になる見通しです。

- ★ 対象となる高齢者は3600万人に上ります。ワクチン数が少ないことに加え、医療従事者の接種が予定より多く、「2か月と3週間」としてきた高齢者の接種に遅れが出てくる可能性があります。

### 一面 緊急事態宣言 関西3府県など解除へ調整

10府県に発令している緊急事態宣言について、大阪、兵庫、京都など6府県を月内にも解除する方向で政府が調整しています。26日に正式決定し、残る4都県は3月7日の期限まで続ける予定です。

- ★ 関西3府県などの知事は、期限より前に解除するよう求めていました。政府は、知事らの意向を尊重する方針で、感染状況も解除が可能な水準まで改善していると判断しています。
- ★ 解除後の飲食店に対する営業時短要請は、大阪府が大阪市内に限定して継続し、午後8時までを午後9時までに緩和する方針です。

### 一面 孔子廟の地代免除「違憲」

儒教の祖・孔子を祭る「孔子廟」に、那覇市が用地を無償提供しているのは、政教分離の原則に照らして「違憲」とする判断を最高裁が示しました。毎年行われる孔子の霊を迎える祭礼は宗教的儀式に当たるとし、そうした施設への無償提供は合理性を欠くと指摘しました。

#### 他紙と比べて

文化面では、NHK大河ドラマの主人公となり注目が高まっている渋沢栄一について研究者が語っています。「公益第一、私利第二」の経営哲学は、今日のESG投資やSDGsの先取りどころか、さらに先を行っているとする人もいます。